

『一般検査技術教本 第2版』お詫びと訂正・修正

丸善出版株式会社

このたびは『一般検査技術教本 第2版』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書の記述に間違いがございましたため、謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

(最終更新日：2024年3月19日)

該当箇所		内容																																											
ページ	場所	誤	正																																										
229	表11.1.2 ・修正箇所を赤字で示す。	<p>表 11.1.2 擬葉類と円葉類の違い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>擬葉類</th> <th>円葉類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虫卵の内容</td> <td>卵細胞と卵黄細胞</td> <td>六鉤幼虫</td> </tr> <tr> <td>頭節</td> <td>吸溝のみ</td> <td>吸盤、鉤、嘴</td> </tr> <tr> <td>子宮孔</td> <td>あり</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>生殖孔</td> <td>腹面に開口</td> <td>側面に開口</td> </tr> <tr> <td>中間宿主</td> <td>1つ</td> <td>2つ</td> </tr> <tr> <td>感染型</td> <td>プレロセルコイド</td> <td>囊虫</td> </tr> </tbody> </table>		擬葉類	円葉類	虫卵の内容	卵細胞と卵黄細胞	六鉤幼虫	頭節	吸溝のみ	吸盤、鉤、嘴	子宮孔	あり	なし	生殖孔	腹面に開口	側面に開口	中間宿主	1つ	2つ	感染型	プレロセルコイド	囊虫	<p>表 11.1.2 擬葉類と円葉類の違い</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>擬葉類</th> <th>円葉類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>虫卵の内容</td> <td>卵細胞と卵黄細胞</td> <td>六鉤幼虫</td> </tr> <tr> <td>頭節</td> <td>吸溝のみ</td> <td>吸盤、鉤、嘴</td> </tr> <tr> <td>子宮孔</td> <td>あり</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>生殖孔</td> <td>腹面に開口</td> <td>側面に開口</td> </tr> <tr> <td>中間宿主</td> <td>2つ</td> <td>1つ</td> </tr> <tr> <td>感染型</td> <td>プレロセルコイド</td> <td>囊虫</td> </tr> </tbody> </table>		擬葉類	円葉類	虫卵の内容	卵細胞と卵黄細胞	六鉤幼虫	頭節	吸溝のみ	吸盤、鉤、嘴	子宮孔	あり	なし	生殖孔	腹面に開口	側面に開口	中間宿主	2つ	1つ	感染型	プレロセルコイド	囊虫
	擬葉類	円葉類																																											
虫卵の内容	卵細胞と卵黄細胞	六鉤幼虫																																											
頭節	吸溝のみ	吸盤、鉤、嘴																																											
子宮孔	あり	なし																																											
生殖孔	腹面に開口	側面に開口																																											
中間宿主	1つ	2つ																																											
感染型	プレロセルコイド	囊虫																																											
	擬葉類	円葉類																																											
虫卵の内容	卵細胞と卵黄細胞	六鉤幼虫																																											
頭節	吸溝のみ	吸盤、鉤、嘴																																											
子宮孔	あり	なし																																											
生殖孔	腹面に開口	側面に開口																																											
中間宿主	2つ	1つ																																											
感染型	プレロセルコイド	囊虫																																											
246	図11.3.3 ・左上。訂正箇所を赤字で示す。	<p>基礎知識</p> <p>終宿主：ヒト 中間宿主：なし 感染経路：経皮感染、自家感染 感染型：3期幼虫（フィラリア型幼虫） 寄生部位：小腸 全身（播種性時） その他：寄生世代では雌のみ</p>	<p>基礎知識</p> <p>終宿主：ヒト 中間宿主：なし 感染経路：経皮感染、自家感染 感染型：3期幼虫（フィラリア型幼虫） 寄生部位：皮膚→心臓→肝→咽頭→小腸 全身（播種性時） その他：寄生世代では雌のみ</p>																																										